

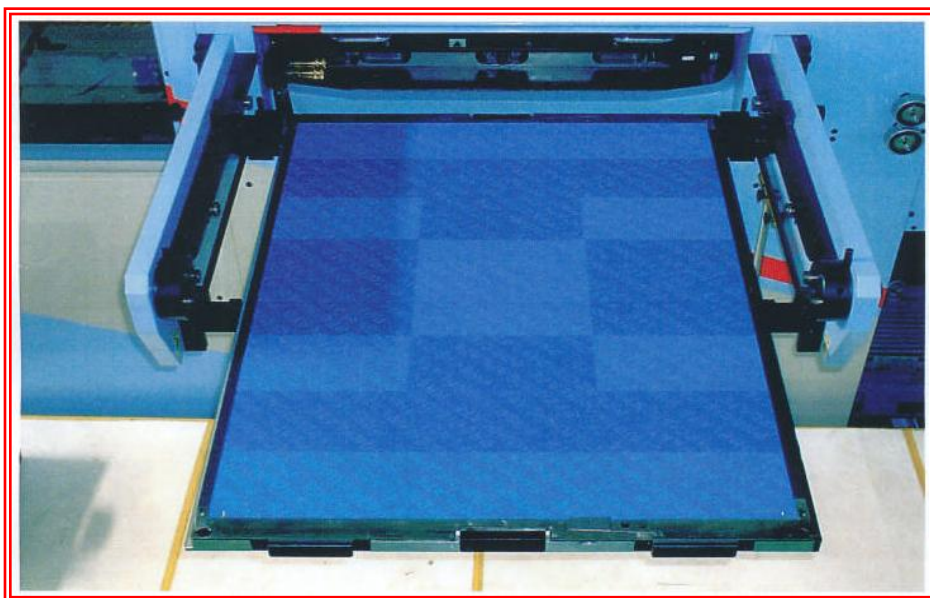
エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2025年1月～2025年12月

実用新案登録

第2082444号

「東久邇宮記念賞」受賞



株式会社 山田紙工

YAMADA SHIKOH CO., LTD.

発行日 : 2026年 3月26日

目 次

1	組織の概要	2
2	対象範囲	2
3	実施体制	3
4	環境経営方針	4
5	環境経営目標・実績	5
6	環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容	6
7	環境関連法規等の遵守状況の確認結果並びに違反、訴訟等の有無	7
8	当社の記録の管理方法	7
9	代表者による全体評価と見直し・指示の結果	7
10	2025年度 代表者による全体の評価と見直し・指示 記録	
	A:取組状況の評価	8
	B:環境管理責任者への指示	9
11	特報 プレシジョンプレート	9

取組の対象組織・活動

【1】 組織の概要

1) 会社概要

事業所名 株式会社 山田紙工
代表者名 代表取締役会長 山田 信夫
会社設立 昭和54(1979)年
資本金 1,000万円
従業員数 8人
認証・登録 2010年6月9日 認証番号:0005017

2) 所在地

■認証・登録対象組織

<本社> 東京都板橋区宮本町62番3号

3) 環境管理責任者氏名

代表取締役社長 中村 夏津代
TEL 03-3969-4636
FAX 03-3965-5275
Eメール info@yamada-shikoh.ne.jp

4) 事業活動内容

一般紙器製造販売及びプレジジョンプレート販売

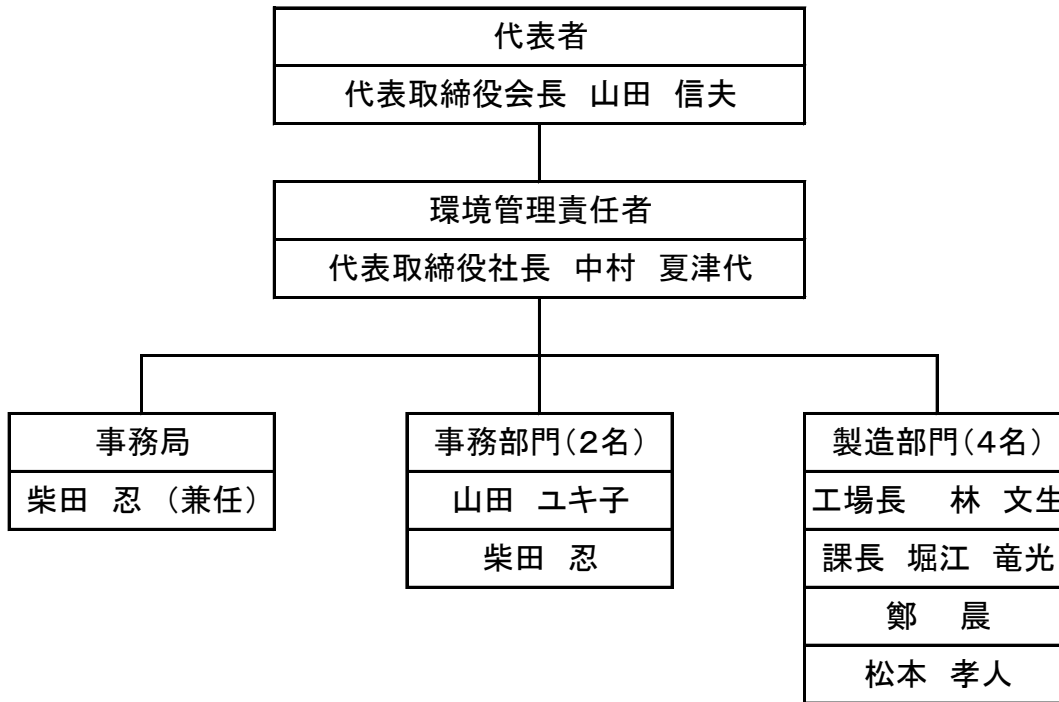
5) 事業の規模

売上高 103百万円(2025年度)
延床面積 258㎡
敷地面積 358㎡

【2】 対象範囲

当社は全組織・全活動・全従業員を対象として取り組んでいます。

【3】 実施体制（総員：8人）



役割	責任および権限
代表者	1. 環境経営方針を定める
	2. EA21実施体制を構築する
	3. 経営における課題とチャンス进行明確化する
	4. EA21の実行に必要な資源(人・もの・資金・情報)を用意する
	5. EA21について全体の評価と見直しをし指示する
	6. 環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	1. 環境経営システムの総責任者としての役割権限
	2. 環境経営システムの実績を代表者に報告
	3. 環境経営目標を定め、全社目標達成状況の確認、記録
	4. 各部門の環境経営計画をまとめ、全社の環境経営計画として定める
事務局	1. 文書の作成・管理
	2. 環境経営システム運用上の事務管理
部門責任者	1. 環境経営計画の実施
	2. 環境上の緊急事態への準備及び対応

【4】環境経営方針

環境経営方針

<基本理念>

当社事業の主力は、紙器製造販売ですが、これらの事業を実施することは、環境へ負荷を与え、紙資源やエネルギー等を消費していることを認識しています。

環境への負荷抑制を心掛けるとともに、省資源・省エネルギーを継続して実施しつつ紙器製造販売等を行い、社会へ貢献していきます。

<環境方針>

1. 環境配慮型の紙器の製造に関する提案、開発、販売を積極的に行います。
2. 一般紙器製造販売等の事業活動(以下事業活動という)を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。
3. 事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減と、資源の循環を促進する活動に取り組みます。
4. 事業活動を通じて、総排出量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。
5. 関連する環境法規制などを守ります。
6. 環境経営マネジメントシステムの継続的改善と有効性を維持するために、目標を設定し定期的に見直します。
7. 環境経営方針は全従業員に周知します。

2026年 2月20日
株式会社 山田紙工
代表取締役会長 山田 信夫

【5】 環境経営目標・実績

中長期目標	2024年度 基準年度	2025年度	2026年度	2027年度
1. 環境配慮型の紙器の普及				
プレジジョンプレートの販売拡大 (百万円)	39.90	0.3%増加	0.3%増加	0.3%増加
化学糊不使用紙箱 エコワンタッチの販売拡大	—	販売拡大	販売拡大	販売拡大
2. 二酸化炭素排出量の抑制と削減				
二酸化炭素の発生抑制、排出削減 (kg-CO ₂)	8588.90	0.5%削減	0.5%削減	0.5%削減
電力 (kWh)	22081.00	0.5%削減	0.5%削減	0.5%削減
液化石油ガス(LPG) (kg)	66.03	0.5%削減	0.5%削減	0.5%削減
3. 廃棄物排出量の抑制と削減・資源の循環				
一般廃棄物の削減 (kg)	344.00	0.5%削減	0.5%削減	0.5%削減
紙くずの100%リサイクル(再資源化業者への引渡し)(kg)	89700.00	100%	100%	100%
4. 総排水量の抑制と削減 (m ³)	169.00	0.5%削減	0.5%削減	0.5%削減
5. 環境関連法規等のリストアップと遵守の定期的確認	—	実態把握	実態把握	実態把握

・PRTR法に規定する化学物質を使用していません。

2025年実績(2025年1月～2025年12月)	2024年度 基準年度	目標	2025年実績	目標達成状況
1. 環境配慮型の紙器の普及				
プレジジョンプレートの販売拡大 (百万円)	39.90	40.01	36.37	×
化学糊不使用紙箱 エコワンタッチの販売拡大	—	販売拡大	販売実績有	○
2. 二酸化炭素排出量の抑制と削減				
二酸化炭素の発生抑制、排出削減 (kg-CO ₂)	8588.90	8545.95	7888.81	○
電力 (kWh)	22081.00	21970.59	19748.00	○
液化石油ガス(LPG) (kg)	66.03	65.69	101.86	△
3. 廃棄物排出量の抑制と削減・資源の循環				
一般廃棄物の削減 (kg)	344.00	342.28	288.50	○
紙くずの100%リサイクル(再資源化業者への引渡し)(kg)	89700.00	100%	47030.00	○
4. 総排水量の抑制と削減 (m ³)	169.00	168.15	179.00	×
5. 環境関連法規等のリストアップと遵守の定期的確認	—	実態把握	実態把握	○

○:目標達成 △:目標未達成であるが製造量増加に起因 ×:目標をはっきり未達成

※LPGについてはCO₂の増加が全体の5%以内は△

・購入電力の排出係数は、日本瓦斯㈱2024年度調整後排出係数0.384(kg-CO₂/kWh)を使用しています。

【6】 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
プレシジョンプレートの販売拡大 ① 宣伝と営業促進	・市場の変化で変動する ・継続して実施した	継続して実施する
化学糊不使用紙箱エコワンタッチの販売拡大 ① 宣伝と営業促進	・継続して実施した	継続して実施する
二酸化炭素の発生抑制、排出削減 【電力】 ① 照明、電源の不用時のスイッチオフ ② 必要でない機械電源を消す ③ 土日祝日の作業機械の絞り込みをする ④ エアコンの設定温度 夏28度・冬22度 ⑤ エアコンフィルターの掃除をする	・実施した ・休憩時間の消灯の実施は、およそ80%であった ・実施した ・室温管理の実施は約80%であった ・実施した	継続して実施する
【液化石油ガス(LPG)】 ① こまめな消火の徹底	・プラスチックのリサイクル洗浄の為、使用量が増加した ・こまめな消火の徹底をした	継続して実施する
一般廃棄物の削減 ① 徹底分別による再資源物の増加	・資源ゴミの分別の徹底が出来た	継続して実施する
紙くずの100%リサイクル(再資源化業者への引渡し) ① 紙くずを全量回収し、再資源業者へ引き渡す ② 作業ミスによる廃棄量の削減	①② ・継続して実施した	継続して実施する
総排水量の抑制と削減 ① トイレタンクにペットボトルを入れ水量を調整 ② 節水を心掛ける	・プラスチックのリサイクル洗浄の為、使用量が増加した ・継続して実施した	継続して実施する
環境関連法規等のリストアップと遵守の定期的確認 ① 毎年1月にチェック	・継続して実施した	継続して実施する

【7】 環境関連法規等の遵守状況の確認結果並びに違反、訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない環境関連法規として、「騒音規制法」、「振動規制法」、「廃棄物処理法」等がありますが、これらの法律の規制遵守のために一覧表を作成し、環境関連法規の動向にも注意して定期的に遵守状況をチェックし、法規制の違反は無いことを確認しています。

近隣の住宅の皆様とはとても友好的な環境にあり、関係当局よりの違反等の指摘や環境に関する訴訟は過去3年間ありませんでした。

【8】 当社の記録の管理方法

当社の環境関連の記録書類につきましては、環境管理責任者が3年間保管し、以後はリサイクルの推進や環境に配慮して、廃棄方法を適正に選択し、処理しております。

【9】 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

2024年3月をもって請負契約を終了し、2024年4月より稼働拠点を板橋へ一本化しました。これにより事業活動の内容が変化したため、実態に即した目標設定へ全面的な見直しを実施しました。

不要な残業を抑制し、節電を徹底しました。

従業員の意識向上が見られ、今後も継続します。

2025年度 代表者による全体の評価と見直し・指示 記録

実施日： 2026年3月26日

実施者：代表取締役会長 山田 信夫

A : 取組状況の評価

	見直しに必要な情報項目	確認した記録等	評価
1	前回審査指摘事項	EA21 審査報告書	環境目標・環境活動計画の基準年度を変え、目標を策定した
2	環境経営方針	環境経営レポート	経営方針に沿ったもので見直しなし
3	環境負荷及び取組状況	別表 環境負荷チェック	エコに対する意識が徹底されている
4	環境経営目標及び環境経営計画	環境経営計画表(兼実績・評価表)	基準年度を2024年に設定し、目標達成に向けて改善する
5	環境関連法規等遵守状況	環境関連法規一覧表	問題なく活動
6	前回の代表者指示事項	前回の実施結果	問題なし
7	実施体制	環境経営レポート	問題なし
8	苦情・要望(近隣・取引先・行政)	外部からの苦情等の受付結果	問題なし
9	その他(環境経営システム全体)		継続的改善を図る

B : 環境管理責任者への指示

	指示項目	変更の必要性	指示内容
1	環境経営方針	あり・○なし	特になし
2	環境経営目標及び環境経営計画 実施状況	○あり・なし	全面的に見直しをした
3	実施体制	あり・○なし	各部門、指示内容を遂行した
4	環境経営システム(EA21全体)	あり・○なし	特になし
5	その他(環境経営システム全体)	あり・○なし	継続的改善を図る

～ 特報 プレシジョンプレート ～

☆プレシジョンプレート 開発から約40年を経たメイドインジャパンのロングセラーが
世界市場に認められ躍進中！！

☆面板本体は、カッティングプレートと共に生まれ変わりました。

本体はスポット式マグネットから、全面シートになりクッション性を生かし、ムラ取り時間を大幅に短縮。

さらに、抜刃に対してソフトに当り、より高いキスカットを実現。

上部1mm硬質ステンレスを従来製品より、今まで以上の耐久性とセット替のスピード化に成功。